



岩淵小 学校だより



令和5年5月1日

5月号

北区立岩淵小学校

校長 野尻 史子

笑顔とあいさつのあふれる学校

副校長 野口 妙子

風薫る季節となりました。校庭にはバラの花が美しい花を咲かせ、休み時間には元気いっぱい
の岩淵小学校の子供たちが笑顔の花を咲かせてくれています。

4月から目立つのは、6年生の活躍です。最上級生としての自覚をもって活動しています。初めての体育朝会では、集団行動のお手本を見せてくれました。先週からは毎朝赤門の前で登校してくる下級生全員に向けて「おはようございます。」と、あいさつをしてくれています。先日の保護者会では、校長より『笑顔とあいさつのあふれる学校』と、目指す学校像を説明させていただきました。まさに、6年生が率先して笑顔とあいさつのあふれる学校を目指して活動してくれています。そんな6年生の姿を見て、1年生から5年生も校舎内ですれ違った時や職員室に用事があって来室した際のあいさつが、元気でとても上手です。先日行われた1年生と上級生の対面式では、2年生から6年生が新しく入学してきた1年生を校庭いっぱいの拍手と笑顔でむかえていました。この温かい雰囲気、何事にも一生懸命取り組み、切磋琢磨しながら高め合えるような子供たちを、教職員一丸となって育てていきます。



新年度がスタートして1ヶ月、先生たちも頑張っています。先日行われた校内研究会では、今年度岩淵小学校で取り組む研究についての方針を話し合いました。今年度は「荒川フィールド学習」に重点を置いた研究を行います。荒川下流河川事務所や水辺の会の皆様に協力をいただき、昨年度まで実施していた草花遊びやかに取り、かい掘りやマコモ刈りなどの体験活動をより充実させ、生活科、総合的な学習の時間、社会科、理科などの教科にまたがって学習を進めます。子供たちにとって身近な「荒川」について歴史、地理、環境、防災など様々な角度から学び、これからの自分たちの未来について考えを深められるような学習計画を立てていきます。岩淵小学校の子供たちが荒川をとりまく地域の自然のよさを実感し、それを守り続けてきた方たちとふれあい、その願いや思いを知ることで、もっとこの地域を大切に守っていこうという気持ちを育てられるようにしていきたいと考えています。

1か月が過ぎ、年度初めの緊張感も緩みがちです。また連休明けも、体調と気持ちを整えて学習に臨めるように、各ご家庭でのお子様へのお声がけをお願いいたします。